

## 取替用フロートゴム玉 (大)

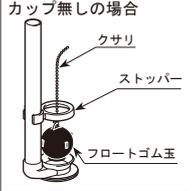
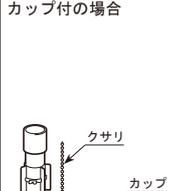
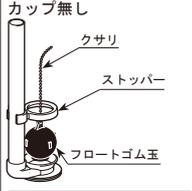
TF-10R-L

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
 注意 ● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。  
 ● 施工後は必ず試運転を行ってください。

※交換部品を正しく取り付けるために、下記をよくお読みください。

### 取付前の確認

フロートゴム玉には、大玉と小玉の2種類があります。  
 本品は大玉の取替用フロートゴム玉です。  
 本品が現在ご使用のゴム玉と合っているか、下記を参照して確認してください。

大玉		小玉
<b>カップ無しの場合</b>  <p>フロートゴム玉がはみ出している場合                      フロートゴム玉</p> <p>フロートゴム玉を引き上げて上から見るとフロートゴム玉が、ストッパーからはみ出している</p>	<b>カップ付の場合</b>  <p>フロートゴム玉がはみ出していない場合                      フロートゴム玉</p> <p>フロートゴム玉を引き上げて上から見るとフロートゴム玉が、ストッパーからはみ出していない</p>	<b>カップ無し</b>  <p>フロートゴム玉がはみ出している場合                      フロートゴム玉</p> <p>フロートゴム玉を引き上げて上から見るとフロートゴム玉が、ストッパーからはみ出している</p>
 <p>TF-10R-L 本品で取り替えます。</p>		 <p>TF-10R-S 本品では取替できません。 TF-10R-Sをお求めください。</p>

### 部品の確認

フロートゴム玉 (外径 65mm)

135 mm

施工説明書 (本紙)

アダプター付クサリ

案内棒

### ■ワンピース便器・クサリカット用型紙

※ワンピース便器以外は、この作業を行わないでください。  
 ワンピース便器の場合、この施工説明書の端をフロートゴム玉の上端に当て、135mmの位置でクサリをカットしてください。

ワンピース便器

135 mm

**注意 1**  
 このとき止水栓ねじの最初の位置を覚えておいてください。  
 (何回転させたかメモしておいてください)  
 止水栓は適切な水量に調節されているので、作業後に元に戻す必要はありません。

**注意 2**  
 このときタンクの手洗吐水口から水が出ないことを確認してください。

**注意 3**  
 フックからクサリを外さないでください。  
 ※洗浄不良の原因になります。

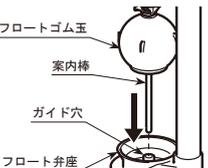
**注意 4**  
 お使いのタンクのシリーズや年代によって、フロート弁台座部の周りに節水ドラムが付いている場合があります。この場合はフロートゴム玉を抜く前に節水ドラムを取り外します。  
 ①節水ドラム上部のフチを両手で持ち、反時計方向に1cmほど回すと、嵌合しているフロート弁台座部のツメから外れます。(固着などにより固くなっている場合があります。)



②嵌合部を外したら、上方向に抜き取ります。  
 ※以前のものにはフロート弁台座部の固定方法がねじ式のために、反時計回りに数回転させなければ外れないものがあります。

**注意 5**  
 ●古いフロートゴム玉を触るときは、手が汚れることがありますので、ゴム手袋等をしてください。  
 ●抜き取る際はきつくなっているため、注意して抜き取ってください。

**注意 6**  
 ●フロートゴム玉を傷つけないようにしてください。  
 ※止水不良の原因になります。  
 ●フロートゴム玉の案内棒をフロート弁座のガイド穴に確実に差し込んでください。  
 ※止水不良の原因になります。



●フロート弁座が水アカ等で汚れている場合は、柔らかい布等でふき取ってください。

**注意 7**  
 「注意 4」で節水ドラムを取り外した場合は、フロートゴム玉を取り付けた後に節水ドラムを取り付けます。  
 「注意 4」の作業を逆に行い、節水ドラムを取り付けます。

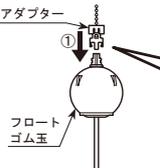
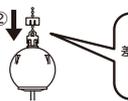
### 施工方法

#### カップ無の場合

#### ① 古いフロートゴム玉の取外し

- 止水栓のねじをマ イナドライバーで右に回して、給水を止めます。  
 ※止水栓はタンクの左、または右にあります。  
**注意 1 参照**
- タンクのハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。  
**注意 2 参照**
- タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。
- ハンドルレバーからフックをクサリごと外し、外したクサリはストッパーをくぐらせて下に落とします。  
**注意 3 参照**
- 古いフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間から抜き取ります。  
**注意 4 参照**  
**注意 5 参照**

#### ② 新しいフロートゴム玉の取付準備

- 新しいフロートゴム玉にアダプターのツメを、しっかりと奥まで差し込みます。  

- アダプターのカバーを、しっかりと奥まで差し込みます。  


**【ワンピース便器 (NC-99P 等) ご使用の場合】**  
 ワンピース便器 (NC-99P 等) ご使用の場合は、さらに下記の3点を行ってください。

- クサリをニッパーを使って、135mmの長さでカットし、カットしたクサリに付いているフックを取り外します。  
 ※長さはこの施工説明書の表側にある「ワンピース便器・クサリカット型紙」を目安にしてください。
- 既設のフロートゴム玉の金属のおもりを、新しいフロートゴム玉に付け替えます。  
 ※おもりの種類によっては、以下のように傾く場合もあります。
- フックを鎖に取り付けます。

#### ③ 新しいフロートゴム玉の取付け

- 新しいフロートゴム玉を、フロート弁座とストッパーの間に差し込みます。  
**注意 6 参照**  
**注意 7 参照**
- 新しいフロートゴム玉のフックをハンドルレバーに取り付け、クサリが張った状態から2~3球たるませた状態に、クサリの長さを調節します。  
**注意 8 参照**
- クサリを取り付けた後、下図の印部にすき間がなく、クサリが抜けないことを確認してください。  
 ※クサリが抜けると、止水不良の原因になります。
- タンクフタを取り付け、止水栓を最初の位置まで開けます。

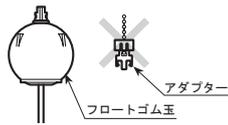
#### ④ 取付後の確認

洗浄ハンドルを大・小洗浄とも2~3度操作して正常に作動するか、水漏れしないか確認します。

# 施工方法

## カップ付の場合

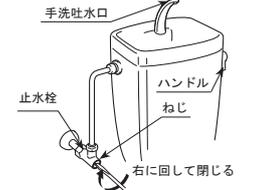
アダプター付クサリは使用しません。  
フロートゴム玉のみを使用します。



## フロートカップストッパー付の場合

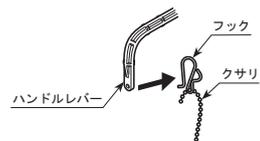
### 1 古いフロートゴム玉の取外し

- 止水栓のねじをマイナスドライバーで右に回して、給水を止めます。  
※止水栓はタンクの左、または右にあります。(注意1参照)

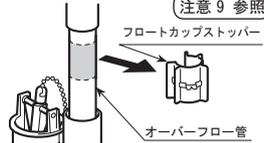


- タンクのハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。(注意2参照)
- タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。

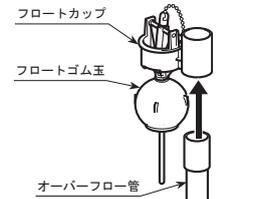
- ハンドルレバーからフックをクサリごと外します。(注意3参照)



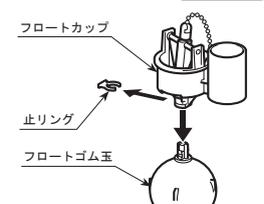
- フロートカップストッパーをオーバーフロー管から外します。(注意9参照)



- フロートカップとフロートゴム玉をオーバーフロー管から外します。



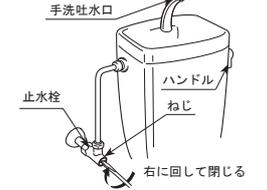
- 止リングを外して、フロートゴム玉をフロートカップから外します。(注意5参照)



## フロートカップストッパー無の場合

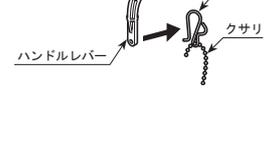
### 1 古いフロートゴム玉の取外し

- 止水栓のねじをマイナスドライバーで右に回して、給水を止めます。  
※止水栓はタンクの左、または右にあります。(注意1参照)



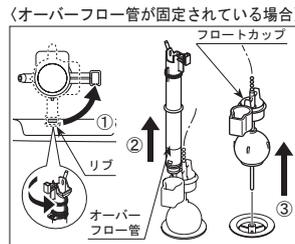
- タンクのハンドルを回して、タンク内の水を抜きます。(注意2参照)
- タンクフタを持ち上げて外し、安定した場所に置きます。

- ハンドルレバーからフックをクサリごと外します。(注意3参照)

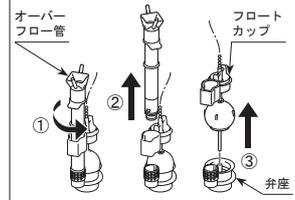


- オーバーフロー管を矢印の方向に回します。(注意12参照) (注意13参照)

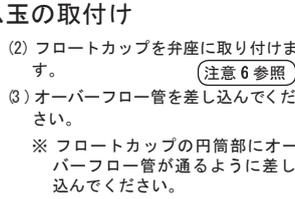
- オーバーフロー管を真上に引っ張って取り出します。(注意9参照)
- フロートカップを取り出して、フロートゴム玉をフロートカップから外します。(注意5参照)



〈オーバーフロー管が固定されている場合〉

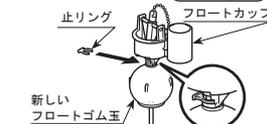


〈オーバーフロー管の固定が根元のみの場合〉



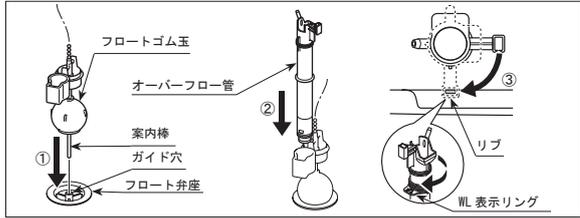
### 2 新しいフロートゴム玉の取付け

- 新しいフロートゴム玉をフロートカップに指し込み、止リングで確実に固定します。(注意10参照)

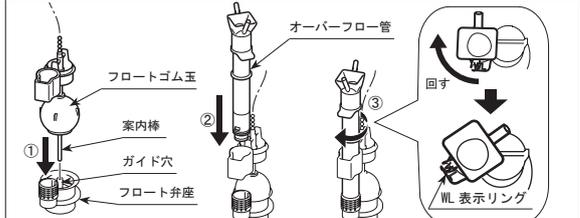


- フロートカップを弁座に取り付けます。(注意6参照)
- オーバーフロー管を差し込んでください。  
※フロートカップの内筒部にオーバーフロー管が通るように差し込んでください。

- オーバーフロー管を回して固定します。(注意9参照)  
※オーバーフロー管が固定されている場合は、リブに取り付けます。  
〈オーバーフロー管が固定されている場合〉



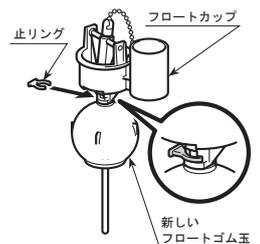
〈オーバーフロー管の固定が根元のみの場合〉



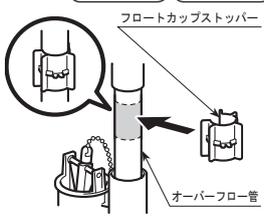
- フックをクサリごとハンドルレバーに取り付けます。(左(4)図参照) (注意14参照)

### 2 新しいフロートゴム玉の取付け

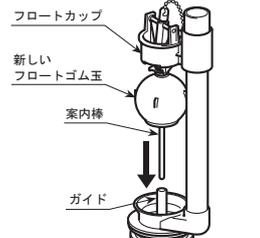
- 新しいフロートゴム玉をフロートカップに差し込み、止リングで確実に固定します。(注意10参照)



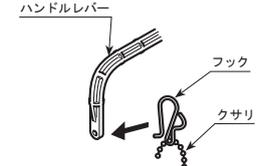
- フロートカップストッパーをオーバーフロー管に取り付けます。(注意9参照) (注意11参照)



- フロートカップをオーバーフロー管に取り付け、フロートゴム玉の案内棒をフロート弁座のガイド穴に差し込みます。(注意6参照)



- フックをクサリごとハンドルレバーに取り付けます。(注意8参照)  
※奥までしっかり取り付けてください。



- タンクフタを取り付け、止水栓を開けます。  
※このとき、止水栓は最初の位置に戻してください。

### 3 取付後の確認

洗浄ハンドルを2～3度操作して正常に作動するか、水漏れしないか確認します。  
※大・小それぞれ確認してください。

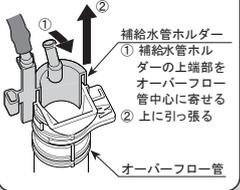
**注意 8**  
●クサリの長さをきちんと調節してください。  
※止水不良の原因になります。  
●クサリをフックに取り付けるときは、奥までしっかりと取り付けてください。  
※洗浄不良の原因になります。

**注意 9**  
オーバーフロー管に強い力を加えないよう注意してください。  
※オーバーフロー管が折れるなど、破損の原因になります。

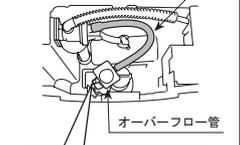
**注意 10**  
フロートゴム玉をフロートカップに最後まで押し込んでから、止リングで確実に固定してください。  
※洗浄不良の原因になります。

**注意 11**  
ストッパーは、正しい位置に取り付けてください。  
※洗浄不良の原因になります。

**注意 12**  
お使いのタンクのシリーズや年代によって、オーバーフロー管の先端に、補給水管ホルダーが取り付けられているタイプもあります。この場合はオーバーフロー管を回す前に、補給水管ホルダーの上端部をオーバーフロー管中心に寄せながら上に引っ張って外してください。  
※取り外す際は取り付いていた位置、向きを覚えておいてください。



**注意 13**  
●フロートゴム玉・Oリングを傷つけないようにしてください。  
※止水不良の原因になります。  
●補給水管を取り外した場合は、必ず元の位置に戻してください。  
※洗浄不良の原因になります。



補給水管は、オーバーフロー管の正面側の管に差し込まないでください。  
※漏水の原因になります。

**注意 14**  
「注意12」で補給水管ホルダーを取り外した場合は、「注意12」の作業を逆にを行い、補給水管ホルダーを取り付けます。  
元の位置、向きになるようしっかりと取り付けます。